

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星古賀 放課後等デイサービス いちばん星jump			
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日		～ 令和7年11月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数)	33人
○従業者評価実施期間	令和7年10月23日		～ 令和7年10月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	4,生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや食事の際に、子どもが安心して過ごせるようにパーテーション等を使用し空間を作っている。 食後には直ぐに清掃を行っている。 玄関、靴棚の清掃を細目に行っている。 生活空間の換気を定期的に行っている。 季節に応じた壁面の作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 変わらず、療育後の清掃を継続して行く。 使用後の玩具や椅子の消毒を再度徹底して行く。
2	7,子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で会議を行い、様々な視点で子どもを見て意見を伝え合い、作成をしている。 保護者のニーズと、子どものニーズを照らし合わせ作成をしている。 子どもとの関わりの中で、課題と成長を話し合い作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どものことや、保護者の事について職員間での情報共有をより強化していく。 集団と個別の様子の情報共有の徹底を計る。
3	15,日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に事業所での様子を伝えたり、家庭での様子を聞くようにしている。 嘔吐や怪我などに対し、全職員が意識をして保護者へ情報を伝える様にしている。 その日の様子を写真も見せながら、フィードバックをするようにしている。 その日の事は、その日のうちに伝える様にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見せながらより丁寧にフィードバックを行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	3,生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ドアの数が多いため、構造化された環境の工夫が必要。 窓が多く、日差しの眩しさがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ドアの利用ヶ所を決め、視覚支援等で構造化を図る工夫を行っている。 カーテン等を付け、眩しさを軽減できるようにする。
2	11,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事への参加は実施しているが、発信力に欠けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出や行事への参加に対して、発信していく頻度を上げて行く。
3	14,事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 参加しなかったけれど、できなかった方への呼びかけや、参加方法の提案がなかった。また、資料等の配布も出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼びかけの頻度を増やしたり、状況に応じて資料の配布等を行っていく。